

歯周組織検査薬

歯周組織の炎症レベルが一目でわかる

PTMキット

歯周組織の炎症状態を調べる検査キットです。

検体を浸した検査液の色調変化の速さで

炎症の程度が判ります。

PTM=Periodontal Tissue Monitor

ピンク色に
なるのが早いと
危険サイン!!

POINT1...

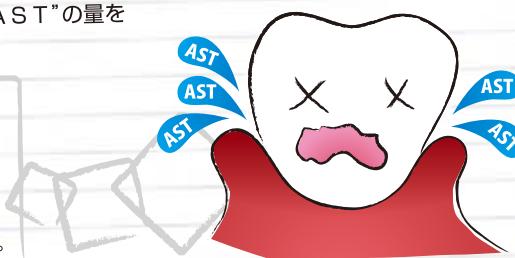
歯周組織の状態が判ります

歯周病原菌の存在や潜血量から推測するのではなく、現在の歯周組織の状態を知ることが可能です。

★測定の力は 酵素“AST” ※AST=アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

歯周組織の炎症状態は、歯肉溝滲出液に含まれる酵素“AST”的量を調べることで測定できます。

“AST”は正常な細胞内に存在する酵素ですが、炎症などにより組織が破壊されると細胞外に放出されます。つまり、歯肉溝滲出液に含まれる“AST”的量が多いほど歯周組織の炎症が進んでいる証拠となり、これを測定することで炎症状態を調べることができます。



POINT2...

即日判定で患者様への説明もスムーズ

約4~10分で結果がわかりますので、診療時間中に

患者さまに説明できます。

色の変化と一緒に確認しながら説明することで

患者さまのモチベーションアップにも役立ちます。



POINT3...

患者さまにやさしい検査方法

検体採取方法は歯周ポケットの入口に

ペーパーストリップスを置くだけ。

組織を傷つける心配なく検査できます。

おすすめ使用例

歯周組織検査の補助に

従来の検査(プローピング等)や細菌検査との併用

歯周治療後の経過観察に

(メインテナンス)

歯周病の早期発見に

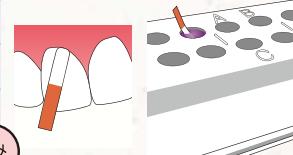
測定方法

各液の滴下後は、液をこぼさないようにトレイをゆすってよく混和してください。詳しくは、製品に付属の使用説明書をお読みください。

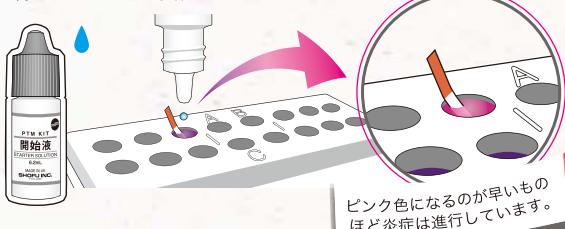
ステップ1
トレイのウェル(凹み)に試薬溶解液を3滴滴下します。



ステップ2
ペーパーストリップスを測定したい歯周ポケットの入り口に30秒間静置し、**ステップ1**のウェルに浸します。



ステップ3
開始液を1滴滴下すると反応がスタートし、徐々に暗い青紫色から明るいピンク色に変化します。



ピンク色になるのが早いもの
ほど炎症は進行しています。

A～Cの溶液は炎症の程度の目安として使用します

炎症の有無が知りたい → B溶液を使用、炎症の程度が知りたい → A・B・C溶液を使用…など



A 溶液 開始液、A溶液を滴下してから
10分後の色調を比較

炎症がほとんど無い状態の目安に。



B 溶液 開始液、B溶液を滴下してから
6分後の色調を比較

①炎症が進行している状態の目安に。

②炎症の有無の目安に。

6分後にこれより明るいと炎症は進行、
暗いと炎症はほぼ無い状態といえる。



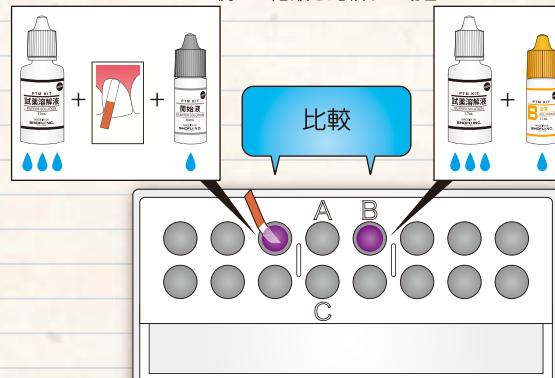
C 溶液 開始液、C溶液を滴下してから
4分後の色調を比較

炎症がかなり進行している状態の目安に。

①選択した溶液名の書かれたウェル(A,B,C)に試薬溶解液を3滴滴下し、混和後、選択溶液(A,B,Cいずれか)を1滴滴下します。

②**ステップ3**のウェルと、左記のタイミングで溶液の明るさを比較してください。

例：B溶液と比較する場合



※開始液、A、B、C溶液の滴下は時間を空けずに行なってください。

包装



歯周組織検査薬(歯肉溝滲出液中のAST量測定用)

PTMキット 一式

【内容】

乾燥試薬トレイ 10枚(16ウェル/枚)
試薬溶解液 17mL
開始液 6.2mL
A溶液(800μIU陽性標準液) 1.1mL
B溶液(1200μIU陽性標準液) 1.1mL
C溶液(1800μIU陽性標準液) 1.1mL
ペーパーストリップス 10シート(16部位)
検査結果記録シート 12枚
使用説明書 1枚

ご使用の際は添付文書等をよく読んでお使いください。

取扱い店

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
PTMキット	アスパラギン酸アミノトランスクレアーゼアイソザイムキット	体外診断用薬品 製造販売承認番号 21900AMY00030000



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

・本社:〒605-0983京都市東山区福稻上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

・支社:東京(03)3832-4366・営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>